

Stakeholders「と」Scientistsにおける「か」の問題－科学の立ち位置とエクセレンス－
Issues of Stakeholders "or" Stakeholders on Co-operation among them - Position of Science
and its Excellence

*木本 浩一¹

*Koichi Kimoto¹

1. 摂南大学・外国語学部

1. Setsunan University, Faculty of Foreign Studies

近代以降、科学はその対象と方法を厳格化し、それぞれの学としての体系性を確立してきた。その体系性は教育課程にまで至り、現在では、科学全体を俯瞰できる地点は存在しない、もしくはできない、ということ
は、研究者間では暗黙の了解であるように思える。しかしながら、その一方で、フューチャー・アース
(FE)に顕著に表れているように、分野の融合や学際領域の確立は「科学」における最重要事項であると称揚
されている。科学が社会と隔絶したところに存在することを前提として、社会「と」関係を構築する場合、科
学の担い手たる「科学者」はどのような立ち位置を保ち、「科学者」はどのような関係を構築できるのであ
ろうか。

本研究では、ステークホルダー論の系譜をたどり、科学史の議論を踏まえた上で、以下の事項について、報告
者の経験に基づいて、議論のための材料を提示したい。

- 1) 学問の現状－A. ブルームの議論を手がかりとして－
- 2) 「科学者」との出会い－現場での経験から－
- 3) 科学の専門家と現場の素人

キーワード：科学者、現場、ステークホルダー

Keywords: Scientist, Field, Stakeholder